

エコアクション21

環境経営レポート

2024年11月15日 発行日

2024年12月25日 改定日

実施期間：2023年度

2023（令和5）年9月1日～2024（令和6）年8月31日



山二建設株式会社

目 次

1 組織の概要

- 1) 事業者名及び代表者名
- 2) 所在地
- 3) 環境保全関係の責任者連絡先
- 4) 事業活動の内容
- 5) 事業規模
- 6) 産業廃棄物処理実績(積替え保管なし)
- 7) EA21 組織図
- 8) 産業廃棄物許可内容
- 9) 産業廃棄物処理工程図
- 10) 産業廃棄物の一連の処理の工程
- 11) 廃棄物処分料金
- 12) 建設業許可内容

2 対象の範囲

3 環境方針

4 環境目標

5 環境活動計画

6 環境目標の実績

7 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

8 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

9 代表者による全体評価と見直し結果

1 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

山二建設株式会社

代表取締役 杉浦鋭江

2) 所在地

本社・土木事務所: 愛知県豊田市美山町5-119

☎ (0565) 28-2255 fax (0565) 28-2253

西豊田リサイクルセンター(収集運搬・中間処分)

愛知県豊田市田代町7-11-1

☎ (0565) 25-2255 fax (0565) 35-2244

3) 環境保全関係の責任者連絡先

環境管理責任者: 青山 和歌恵

EA21事務局: 青山 和歌恵

西豊田リサイクルセンター

☎ (0565) 25-2255 fax (0565) 35-2244

E-mail : yama2-r@kph.biglobe.ne.jp

4) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理)、土木工事業

5) 事業規模

法人設立年月日 : 昭和48年11月

資 本 金 : 1,000万円

売 上 : 28, 478万円(2024年8月決算)

従業員数 : 10人

敷地面積(本社・土木事務所) : 609㎡(延床面積258㎡)

敷地面積(西豊田リサイクルセンター) : 8336㎡(延床面積759㎡)

6) 産業廃棄物処理実績(積替え保管なし)

産業廃棄物(処分量) : 49,970t (2023年9月～2024年8月処分実績)

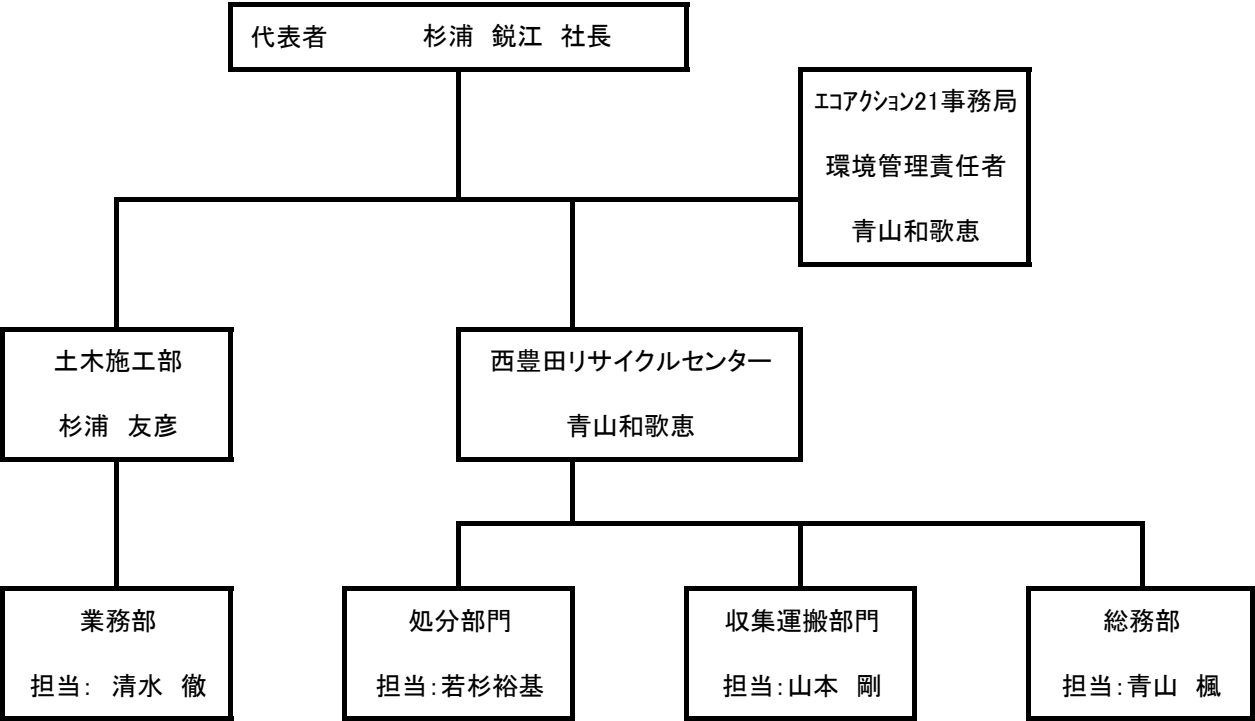
産業廃棄物(運搬量) : 1,791t (2023年9月～2024年8月運搬実績)

7) EA21 組織図

作成日： 令和5年9月1日

作成者： 青山和歌恵

(エコアクション21実施体制) 総員 10 人



役割・責任・権限

	担 当 者	役割・責任・権限
代 表 者	杉浦鋭江社長	環境方針の作成、環境管理責任者の任命 資源（人員・設備・費用）の準備 システムの見直し
環境管理責任者	青山 和歌恵	エコアクション21の構築・運用・維持の総括
事 務 局	青山 和歌恵	環境関連文書・記録の作成・管理
担 当	清水・若杉・山本・青山楓	エコアクション21取組実施 実施状況の確認・記録

8) 産業廃棄物許可内容

* 収集運搬業 愛知県 許可番号第02300029144号

許可年月日 令和2(2020)年 3月28日

許可の有効期 令和7(2025)年 3月27日

積替え、保管を除く。

- ・ がれき類(石綿含有廃棄物を除く。)
- ・ ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、
及び陶磁器くず(自動車等廃棄物及び石綿含有廃棄物を除く。)

以上 2品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

許可運搬車両の種類と台数(令和6年1月現在)

- ・ 大型ダンプ 10t…… 4台
- ・ 中型ダンプ 4t…… 4台

* 処分業 豊田市 許可番号第09020029144号

許可年月日 令和 4年 3月28日

許可の有効期 令和11年 3月27日

中間処分(破碎)

- ・ がれき類(石綿含有廃棄物を除く。)
- ・ ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、
及び陶磁器くず(自動車等廃棄物及び石綿含有廃棄物を除く。)

以上 2品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

設置場所 豊田市田代町7丁目11番地1 ほか9筆

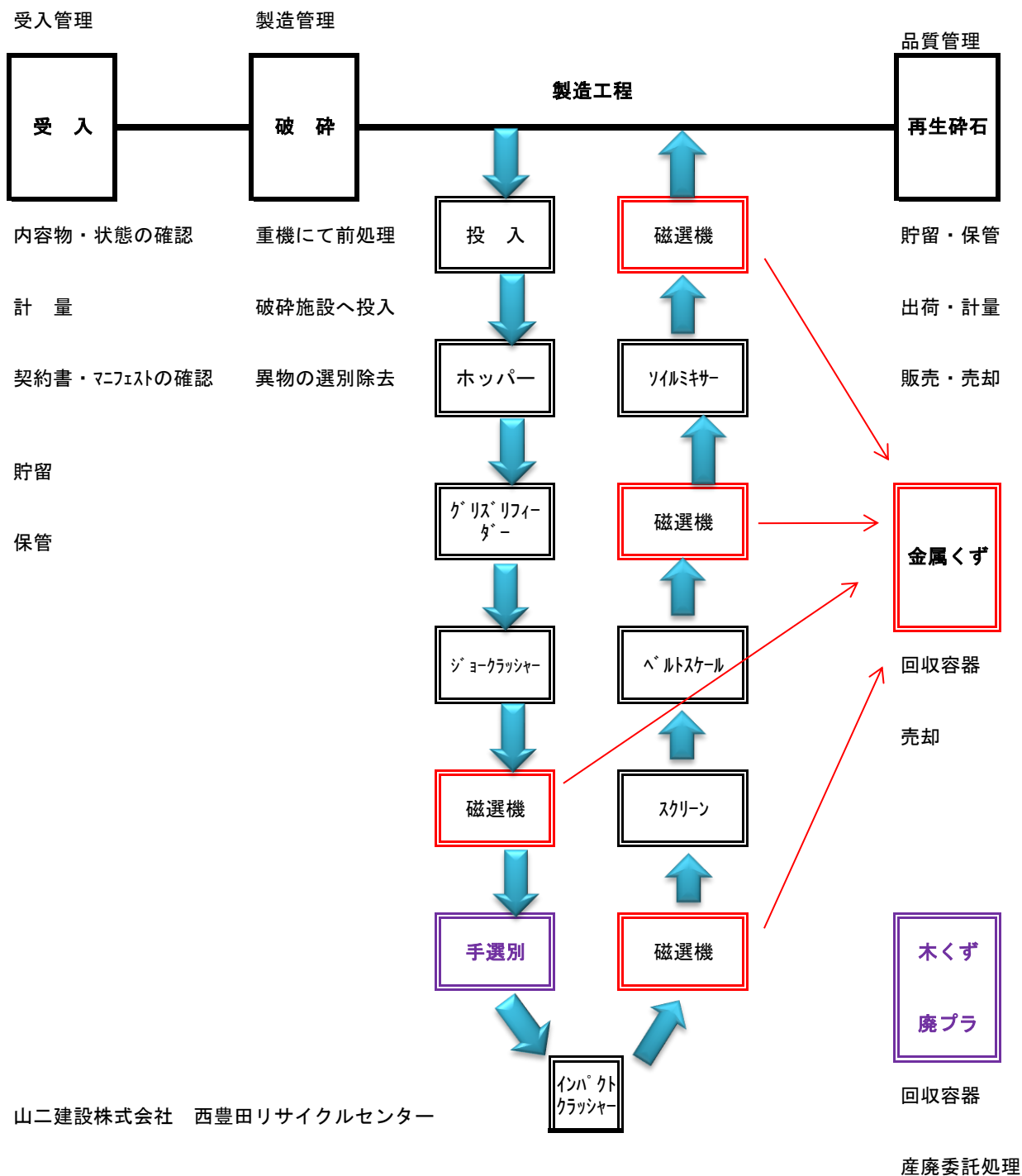
処理能力 720t/日(90t/時間)

処理施設 破碎機(ジョークラッシャー・インパクトクラッシャー・スクリーン)

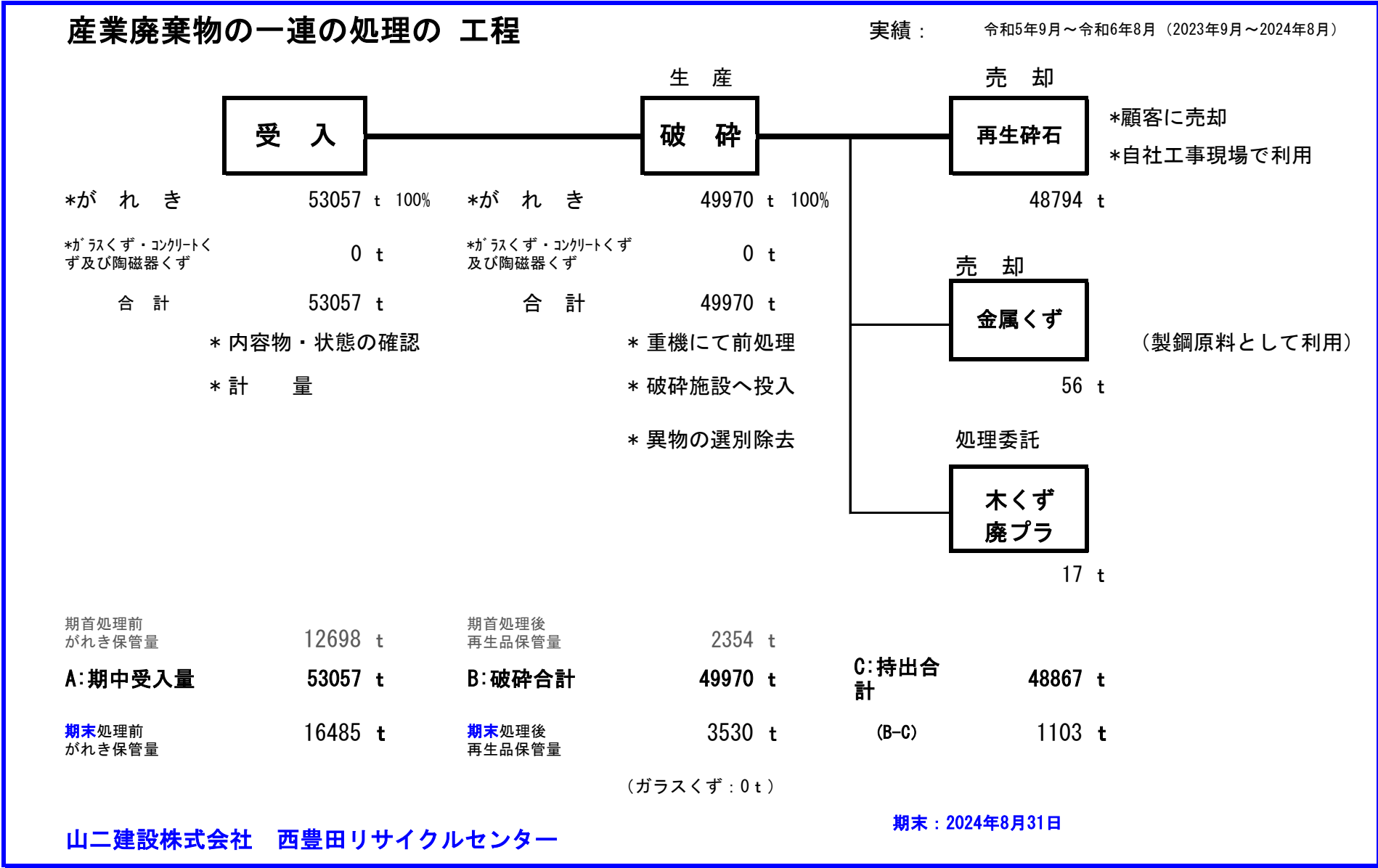
軽量器・ホイロローダー・油圧ショベル

9) 産業廃棄物処理工程図

産業廃棄物の処理工程図（フロー）



10) 産業廃棄物の一連の処理の工程



11) 廃棄物処分料金

収集運搬及び処分料金は、発生場所・数量・期間等により異なるので
お問い合わせください。個別に見積もりいたします。

12) 建設業許可内容

許可番号 愛知県知事 許可(般-2) 第58885号

許可年月日 令和 2年 8月10日

許可の有効期限 令和 7年 8月 9日

許可建設業の種類

土木工事業

とび・土木工事業

石工事業

鋼構造物工事業

舗装工事業

しゅんせつ工事業

水道施設工事業

2 対象の範囲(認証・登録範囲)

対象組織: 本社・土木事務所、西豊田リサイクルセンター

対象活動: 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理)

土木工事業

3 環境方針

環境経営方針

基 本 理 念

自然環境に配慮した事業活動と再生品の提供を目指し、施工方法・製造工程においては持続的な環境への負荷低減に取り組み、環境保全を経営の重要な指針と踏まえ、循環型社会の構築を目指します

また、地域への社会貢献活動に努めることも企業市民としての責務とし、事業活動を行い地域とともに発展することを組織一丸の目標とします

自然環境、顧客、従業員に感謝の気持ちを忘れずに事業活動を行います

令和2年4月1日

山二建設株式会社

代表取締役 杉浦 鋭江

行 動 指 針

直接的及び間接的な環境影響を配慮した企業活動を推進することにより利益

計画の達成を図ります

1 環境関連法令等の遵守

「廃棄物処理法」等、環境に関する法規則等を遵守いたします

2 循環型社会形成への構築

省資源、省エネルギー活動の推進により資源の有効利用を図ります
(電気・水道・燃料等の使用量の削減)

廃棄物の削減を顧客にも推奨し、自らも再利用、削減に努めます

3 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の推進により職場改善

職場環境の改善により作業効率を高めます

4 地域社会への環境美化活動や社会貢献

地域に根付く企業として、清掃による社会貢献活動や緑化活動を行います

5 環境経営方針の周知と公開

企業全体の取り組みとして全従業員に対し環境意識の向上のため啓発活動に努め、「環境経営方針」を社内に掲示し全従業員に周知し、また「エコアクション21環境レポート」を通じ環境に対する活動及び取り組みを公開します
環境取組はPDCAを基本とし継続的改善に努めます

令和2年4月1日

山二建設株式会社

代表取締役 杉浦 鋭江

4-①環境目標:産業廃棄物収集運搬・処分業

産業廃棄物収集運搬・処分業における事業活動からの環境負荷の合計として2020年度(2020年9月～2021年8月)実績を基準とした環境負荷を年度基準として以下に環境負荷の削減目標を示します。

尚、原単位は生産(破碎)量(t)といたします。

発行日: 令和3年9月1日

原単位の基本 2020年間生産(破碎)量 46.951 千トン

■作成 □変更 □改定

2023年度:2023年9月～2024年8月

作成責任者 青山 和歌恵

環境方針項目	取組の項目	種 別	単 位	2020年度	2023年度	2024年度	2025年度
				基準年度	3%	4%	5%
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	総 量	kWh	70042	67941	67240	66540
		原単位	kWh/t	1492	1447	1432	1417
④環境に配慮した運搬・製造(破碎)工程	軽油使用量の削減	総 量	L	35486	34421	34067	33712
		原単位	L/t	756	733	726	718
	ガソリン使用量の削減	総 量	L	1393	1351	1337	1323
		原単位	L/t	30	29	28	28
二酸化炭素排出量の削減		総 量	kg-CO ₂	123314	119615	118381	117148
		原単位	kg-CO ₂ /t	2626	2548	2521	2495
②排水量の削減	水使用量の削減	総 量	m ³	66	64	63	63
廃棄物の排出量削減	③一般廃棄物の削減	総 量	t	0.17	0.16	0.16	0.16
	④中間処理後の産業廃棄物の削減	総 量	t	16	16	15	15
		原単位	t/t*100	34	33	33	32
⑤環境に配慮した運搬・製造(破碎)工程	重機の燃費向上	目標	L/H	12.16	11.80	11.67	11.55
⑥社会貢献活動の推進				会社周辺の清掃活動等 1回/月			

- * 化学物質は使用していません。
- * 購入電力の排出係数は 0.440kg-CO₂/KWh(R4年度 中部電力ミライズ:調整後排出係数)を使用。
- * 場内での作業建設機械、運搬車両は軽油を使用。 社用車はガソリンを使用。
- * ②水道の使用量は事務所のみ。 場内での散水は井戸水を使用。 井戸水にはメーターがありませんが、節水に努めます。
- * ③一般産業廃棄物は事務所内の可燃ごみ。
- * ③産業廃棄物は、生産過程(分別作業)で発生する、木くず・廃プラスチックの混合廃棄物で、処分委託です。
- * LPG使用は事務所のみで使用量は少量です。よって事業活動には影響が少ないので環境目標の項目から削除しますが使用量の削減には努めます。
- * ⑤⑥に関しては共通課題のため土木工事業との合計とします。

4-②環境目標:土木工事業

土木工事業における事業活動からの環境負荷の合計として2020年度(2020年9月～
～2021年8月)実績を基準とした環境負荷を年度基準として以下に環境負荷の

削減目標を示します。尚、原単位は年間売上(百万円)といたします。

発行日: 令和3年9月1日

原単位の基本 年間売上(百万) 175 百万円 ■作成 □変更 □改定

2023年度:2023年9月～2024年8月 作成責任者 青山 和歌恵

環境方針項目	取組の項目	種 別	単 位	2020年度	2023年度	2024年度	2025年度
				基準年度	3%	4%	5%
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	総 量	kWh	7238	7021	6948	6876
		原単位	kWh/百万円	41	40	40	39
④環境に配慮した工事工程	軽油使用量の削減	総 量	L	35240	34183	33830	33478
		原単位	L/百万円	201	195	193	191
	ガソリン使用量の削減	総 量	L	7135	6921	6850	6778
		原単位	L/百万円	41	40	39	39
二酸化炭素排出量の削減		総 量	kg-CO ₂	104097	100974	103056	102015
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	595	577	554	565
②排水量の削減	水使用量の削減	総 量	m ³	178	173	171	169
		原単位	m ³ /百万円	1.02	0.99	0.98	0.97
廃棄物の排出量削減	③一般廃棄物の削減	総 量	t	—	—	—	—
	④環境に配慮した土木工事に伴う産業廃棄物の削減	総 量	t	4.7	4.6	4.5	4.5
		原単位	t/億円	2.69	2.61	2.58	2.55

- ③一般廃棄物の削減 産業廃棄物処分業、収集運搬業(西豊田リサイクルセンター)に合算しました。
- * 化学物質は使用していません。
- * 購入電力の排出係数は 0.440kg-CO₂/KWh(R4年度 中部電力ミライズ:調整後排出係数)を使用。
- * LPG使用は事務所のみにで使用量は少量です。よって事業活動には影響が少ないので環境目標の項目から削除しますが使用量の削減には努めます。

令和5年度(2023年)の環境活動計画

作成日： 令和5年9月1日

承認者： 杉浦鋭江

環境項目・目標			具体的な取り組み内容	点検方法	責任者	
					処分業	土木業
①二酸化炭素削減	電力	事務所	空調の温度設定	ラベル啓発	青山 楓	社長
			節電(空調・照明・OA・ポット)	点検表	青山 楓	社長
			終業時の電源OFF徹底	点検表	青山 楓	社長
		休憩室	空調の温度設定	ラベル啓発	若杉	
			節電(空調・照明・OA・ポット)	点検表	若杉	
			終業時の電源OFF徹底	点検表	若杉	
	石油燃料	作業車両	エコ運転の徹底	—	山本	清水
			アイドリングストップの徹底	—	山本	清水
			車両点検・整備の実施	点検表	山本	清水
	LPG		湯沸かし器の稼働時間削減	ラベル啓発	青山 楓	社長
②水使用量削減		水道水の節水呼掛け	ラベル啓発	高野	社長	
		井戸水のバルブ締め	ラベル啓発	若杉		
廃棄物の削減	③一般廃棄物	コピーの裏面使用・集約実施	ラベル啓発	青山 楓	社長	
		詰替え可能商品の優先購入	—	青山 楓	社長	
		分別の徹底(分別BOX設置)	ラベル啓発	青山 楓	社長	
	④産 廃	分別作業の徹底	—	若杉	清水	
		搬入顧客に分別アドバイス	—	山本		
⑤グリーン購入促進		エコ商品の推進購入	—	青山 楓	社長	
⑥社会貢献活動		環境美化活動(清掃・草刈)	—	高野	社長	

* 取組開始 : 令和5年9月1日 2023

* 取組終了 : 令和6年8月31日 2024

6-①. 環境目標実績

:産業廃棄物収集運搬・処分業

産業廃棄物収集運搬・処分業における事業活動からの環境負荷の合計として2020年度(2020年9月～2021年8月)実績を基準とした2023年度(2023年9月～2024年8月)の環境負荷の削減目標を示します。

尚、原単位は破碎処分量(t)といたします。

発行日: 令和5年10月31日

2020年度の生産量(破碎) 46.951 千トン ■作成 □変更 □改定

2023年度の生産量(破碎) 49,970 千トン 作成責任者 青山和歌恵

環境方針項目	取組の項目	種 別	単 位	2020年度	2023年度				
				基準年度	増減目標	目標値	実績値	*増減%	
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	総 量	kWh	70042	-3%	67941	65778	-6	
		原単位	kWh/t	1492		1447	1316	-12	
	軽油使用量の削減	総 量	L	35486	-3%	34421	36608	3	
		原単位	L/t	756		733	733	-3	
	ガソリン使用量の削減	総 量	L	1393	-3%	1351	2488	79	
		原単位	L/t	30		29	50	68	
	二酸化炭素排出量の削減		総 量	kg－CO 2	124872	-3%	121126	129201	3
			原単位	kg－CO2/t	2660		2580	2586	-3
②排水量の削減	水使用量の削減	総 量	m³	66	-3%	64	85	29	
廃棄物の排出量削減	③一般廃棄物の削減	総 量	kg	170	-3%	170	169	-1	
	④中間処理後の産業廃棄物の削減(木くず・廃プラ/除く有価物)	総 量	t	16	-3%	16	16	0	
		原単位	t/t*100	34		33	0	-100	
⑤環境に配慮した運搬・製造(破碎)工程	重機の燃費向上	目 標	L/H	12.16	-3%	11.80	12.88	6	
⑥社会貢献活動の推進		4					随時	—	

- * 原単位のある項目(①)の増減の%表示は、原単位の比較割合です。
- * 原単位のない項目(②③④⑤⑥)は、取組実績数の比較割合です。
- * 随時: 芝桜・コキアなどの植栽をし、草苺・水路清掃・県道掃除・状況に応じ行いました。
- * ⑤重機の燃費向上の タイヤローダー 3台 油圧ショベル 2台の平均で算出

6-②.環境目標の実績 :土木工事業

土木工事業における事業活動からの環境負荷の合計として2020年度（2020年9月～2021年8月）

実績を基準とした2023年度（2023年9月～2024年8月）の環境負荷の削減目標を示します。

尚、原単位は年間売上（百万円）といたします。

発行日：令和5年10月31日

2020年度の年間売上（百万）：175 百万円■作成□変更□改定

2023年度の年間売上（百万）：161 百万円作成責任者青山和歌恵

環境方針項目	取組の項目	種 別	単 位	2020年度	2023年度			
				基準年度	増減目標	目標値	実績値	増減%
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	総 量	kWh	7238	-3%	7021	1921	-73
		原単位	kWh/百万円	41		40	12	-71
	軽油使用量の削減	総 量	L	35240	-3%	34183	46343	32
		原単位	L/百万円	201		195	288	43
	ガソリン使用量の削減	総 量	L	7135	-3%	6921	4855	-32
		原単位	L/百万円	41		40	30	-26
	二酸化炭素排出量の削減	総 量	kg-CO 2	104097	-3%	100974	138604	33
		原単位	kg-CO 2/百万円	595		577	861	45
②排水量の削減	水使用量の削減	総 量	m³	178	-3%	173	300	69
		原単位	m³/百万円	1.02		0.99	1.86	83
廃棄物の排出量削減	③一般廃棄物の削減	総 量	t	-	—	-	—	—
	④土木工事に伴う産業廃棄物の削減	総 量	t	4.7	-3%	4.6	10	113
		原単位	t/億円	2.69		2.61	6.21	131

- * ③一般廃棄物は処分業（西豊田リサイクルセンター）に合算しました。
- * ④産業廃棄物は最終処分（埋立）量

		t
建設発生木材	フルハシ	0.9
建設汚泥	江島	4.4
廃プラ	東海カンノ	4.72
④		10.02

7. 環境目標の実績

環境活動計画の取り組結果

作成日： 令和5年10月31日

承認者： 杉浦鋭江

環境項目・目標			具体的な取り組み内容	点検方法	責任者		*結 果
					処分業	土木業	
① 二酸化炭素削減	電力	事務所	空調の温度設定	ラベル啓発	青山楓	清水	○
			節電(空調・照明・OA・ポット)	点 検 表	青山楓	清水	○
			終業時の電源OFF徹底	点 検 表	青山楓	清水	○
		休憩室	空調の温度設定	ラベル啓発	若杉		○
			節電(空調・照明・OA・ポット)	点 検 表	若杉		○
			終業時の電源OFF徹底	点 検 表	若杉		○
	石油燃料	作業車両	エコ運転の徹底	—	山本	清水	○
			アイドリングストップの徹底	—	山本	清水	○
			車両点検・整備の実施	点 検 表	山本	清水	○
	ガス		湯沸かし器の稼働時間削減	ラベル啓発	青山楓	清水	○
②水使用量削減		水道水の節水呼掛け	ラベル啓発	高野	清水	○	
		井戸水のバルブ締め	ラベル啓発	若杉		○	
廃棄物の削減	③一般廃棄物	コピーの裏面使用・集約実施	ラベル啓発	青山楓	清水	○	
		詰替え可能商品の優先購入	—	青山楓	清水	○	
		分別の徹底(分別BOX設置)	ラベル啓発	高野	清水	○	
	④産 廃	分別作業の徹底	—	若杉	清水	○	
		搬入顧客に分別アドバイス	—	山本		○	
⑤グリーン購入促進		エコ商品の推進購入	—	青山楓	清水	○	
⑥社会貢献活動		環境美化活動(清掃・草刈)	—	高野		○	

* 結果表示 (○:実施 △:一部実施 ×:未実施)

取組開始 : 令和5年9月1日 2023

取組終了 : 令和6年8月31日 2024

取組の結果と評価 処分業・収集運搬業

①二酸化炭素排出量削減

結 果 : 達成=○ 未達成=×

項目	結 果		評 価	今後の取組
電 力	総 量	○	前年度より生産量の増加(前年度34978t⇒今年度49970t 42%増加)しましたが使用量は減少しました。しかし生産効率は維持(前年度103t/H⇒今年度103t/H)しました。 使用時間・設定温度を意識し節電に努めました。日除け・カーテン・パーテーションを活用し、窓ガラスに遮光・遮熱のフィルムを貼り空調の効率化をはたりました。	前処理を十分に実施し、顧客の予定を把握し効率の良い生産(日程、作業中断)に努めます 省エネタイプの照明器具への交換を検討
	原単位	○	電気供給業者の変更により電気料金は減少しました。 体調不良を考慮してエアコン使用が増えました。	安価な業者に変更したので来期も原単位の減少に望めます。 このまま継続し改善活動を行います。
軽 油	総 量	×	受入量の増加に伴い重機の作業時間の増加し使用量も増加しました。重機作業中に顧客対応のため中断し非効率的な作業が多かった。 また運搬業においては増車し運搬量も増加したので使用量も増加しました。	重機の無駄な移動・作業削減のため、受入場所を状況に応じ変更し重機の移動時間・作業時間の短縮に今後も燃料削減に努めます。
	原単位	○	顧客の予定を加味し、場内での重機での作業内容を適宜変更しました。 大型運搬車両の増車もあり、原単位の減少の要因となりました。	運搬経路・順番を考慮して運行計画を立てます。資材運搬は協力業者に依頼を検討。 このまま継続し改善活動を行います。
ガソリン	総 量	×	現場の確認や送迎などの乗用車での移動が増えた為、ガソリン使用量が増加しました。	効率の良い移動を念頭におき、燃費向上に努めます。
	原単位	×		ハイブリッド車への交換を検討 このまま継続し改善活動を行います。

②排水量の削減

項目	結 果		評 価	今後の取組
水道使用量	総 量	×	手洗いが主流の利用であるが、事務所内の清掃の日常化により使用量が増加しました。 晴天続きで植栽への散水、洗車は、雨水タンクでは足りず水道水を利用しました。	井戸水(場内散水)、雨水タンク(植栽への散水)を今後も活用します。 このまま継続し改善活動を行います。

廃棄物の排出量削減

項目	結 果		評 価	今後の取組
③ 一般廃棄物	総 量	○	事務所の不用品整理に努めましたが、ゴミの排出量は変動ありません。 印刷前の確認不足でミスプリントが増えてしまいました。	裏紙利用はもちろん、再生品・再利用可能な商品の購入に努めます。 このまま継続し改善活動を行います。
④ 産業廃棄物削減	総 量	○	職場環境の改善を図り不要品を処分しました。	受入時に不純物の混入を防ぐ為、顧客への啓発を一層実施します。
			質の良い製品製造のため不純物の選別に努	

物の	原単位	○	めました。	このまま継続し改善活動を行います。
----	-----	---	-------	-------------------

環境に配慮した運搬・製造(破碎)工程

項目	結 果		評 価	今後の取組
⑤ 費重 向機 上の 燃	目標L/H	×	少人数での作業のため、重機作業を中断しての顧客対応が多かったので燃費向上に至らなかった。	受入ヤードを整備し重機の作業エリアを確保、作業の効率化を図ります。 このまま継続し改善活動を行います。

⑥社会貢献活動の推進

- 1) 沿道のゴミ拾いを実施し、敷地周辺の草刈りや県道の砂利の清掃活動を実施しました。
- 2) 地域の農事組合の年間行事に合わせ、水路の清掃・草刈りを実施しました。
- 3) 敷地内及び県道沿い、農道側に花を植え、緑化に努めました。
- 4) 服役後の社会復帰一時雇用の受入れを実施しました。
- 5) 地元地域の夏祭り会場として、本社駐車場を提供しました。

又、近隣地域の行事に協賛しました。

ユニセフに募金しました

SDGs(豊田市)ブロンズを認証

取組の結果と評価 土木業

①二酸化炭素排出量削減

結 果 : 達成=○ 未達成=×

項目	結 果		評 価	今後の取組
電力	総 量	○	事務所不在が多く、電気の使用が減少しました。	ラベル啓発により一層節電に努めます。
	原単位	○	事務所不在が多く、電気の使用が減少しました。	このまま継続し改善活動を行います。
軽油	総 量	×	車両の増車により使用量が増えました。	重機の無駄な移動・作業削減のため、作業時間の短縮に今後も燃料削減に努めます。
	原単位	×	ダンプの常用作業が増えたので使用量・原単位の増加になりました。	不要な空ぶかしや、アイドリングストップに努めます。 このまま継続し改善活動を行います。
ガソリン	総 量	○	現場の確認や送迎などの乗用車でなく、ダンプでの利用もあり、ガソリン使用量は減少しました。	効率の良い移動を念頭におき、燃費向上に努めます。
	原単位	○		このまま継続し改善活動を行います。

②排水量の削減

項目	結 果		評 価	今後の取組
水道使用量	総 量	×	宿舍利用者による水道の使用が増えました。	ラベル啓発により一層節水に努めます。 このまま継続し改善活動を行います。

廃棄物の排出量削減

項目	結 果		評 価	今後の取組
④産業廃棄物の削減	総 量	×	道路補修工事に伴い、カッターにより汚泥の処理、片付け作業により増加しました。	
	原単位	×		このまま継続し改善活動を行います。

8-① 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

作成日: 令和6年11月15日

作成責任者: 青山和歌恵

*評価区分 ○: 遵守できている △: 一部遵守できてない ×: 遵守できてない

環境関連法規等	法、条例等の項目概要	適用内容	*遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の保管基準	周囲の囲い	○
		処分等のための保管場所の表示掲示板	○
		産業廃棄物の高さ制限	○
		産業廃棄物の保管量	○
		飛散・流出・地下浸透への防止	○
	産業廃棄物の収集運搬基準	運搬車両からの飛散・流出防止	○
		両側面に産業廃棄物運車両表示	○
		書面の備え付	○
		収集運搬実績の報告（令和6年4月届出）	○
	運搬・処分に係る委託基準	委託契約書の締結	○
		委託内容と許可内容との確認	○
		市外搬入届の確認	○
		処分実績の報告（令和6年4月届出）	○
		委託契約終了後の5年間保存	○
	マニフェスト制度	マニフェストの記載内容の確認	○
		マニフェストの返却	○
		マニフェストの5年間保存	○
		産業廃棄物管理票交付等状況報告（令和6年4月届出）	○
	業の許可に必要な講習の受講（R元/11/14 受講）		○

廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	委託先の現地確認	許可内容と実態との相違	○
		処分能力の確認	○
		保管量・保管基準の確認	○
	処理困難通知	排出事業者への通知	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		公害防止管理者(有資格者)選任・届出 (管理者H21/4/30)	○
自動車NOX・PM法	自動車使用者又は運送業者	「自動車NOX・PM法適合車」ステッカー貼付	○
浄化槽法	「法定検査」「清掃」等の法定義務	法定検査 年1回 令和6年2月実施	○
		* 清掃1回/年 令和6年9月実施	○
		* 点検4回/年 令和5年12月・令和6年3月・6月・9月 実施	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン設置(簡易点検):修理及び廃棄時は登録業者に委託		○
グリーン購入法	製品やサービスを購入する際に、環境を考慮環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	一般的債務として努力する(環境方針項目の為)	○
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体し、特定建設資材廃棄物の再資源化をする		○
大気汚染防止法	粉じんの特定施設届け出		○
振動規制法	特定施設の届出(定格出力7.5kw以上)・振動の規制値の遵守		○
騒音規制法	特定施設の届出(定格出力7.5kw以上)・騒音の規制値の遵守		○
愛知県環境保全条例	アイドリングストップの周知及び実施		○
水質汚濁防止法	油水分離槽設置につき事故時の対応及び所轄官庁への報告		○

・確認評価の結果、違反・訴訟等の指摘はありませんでした。

・尚、過去3年間とも上記指摘はございませんでした。

・環境に関する外部からの苦情はありませんでした。

9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

環境管理責任者による見直しに必要なコメント

書式作成責任者： 青山和歌恵

書式作成日 : H26.12.1

コメント記載日	令和 6年 11月 15日
1 環境目標の達成状況 (達成できた場合は設定方法・レベルに問題が無かったか、未達成の場合は原因の記載)	未達成項目があるが、建設業と処分業が合算している環境項目もありますがこのまま継続し改善活動を行います。
2 環境活動計画の実施・運用結果 (取組に問題が無かったか、次年度の取組等についての記載)	取組は概ね実施されているのでこのまま継続します。
3 環境関連法規等の遵守状況	環境法令の違反なし
4 外部からの環境関連の苦情や要望	特になし
5 その他(前回の指摘事項等)	現実的な目標数値の設定。結果を踏まえ計画・実行する

代表者による変更の必要性の判断

代 表 者 : 杉浦 鋭江

次年度以降の目標、取組、環境経営システムをどのようにすべきか(変更の必要性の有無)を検討し、問題点を明確にする

コメント記載日	令和6年11月15日
変更の必要性の判断	変更の判断 コメント
1 環境方針の変更	☐ 有 ☒ 無
2 環境目標の変更	☐ 有 ☒ 無
3 環境活動計画の変更	☐ 有 ☒ 無
4 環境経営システムの変更	☐ 有 ☒ 無
5 実施体制の変更	☐ 有 ☒ 無

* 変更の場合は必要な具体的指示事項

能登被災地の視察



水路草刈り



県道掃除



緑化活動



田中山公園夏祭り



美山自治区夏祭り

